

一般入学者選抜[第I期]のための学力検査の概要  
各教科の出題のねらい、結果の概要、応答率

# 1 国語

## (1) 出題のねらい

### ア 全般的なねらい

思考力、判断力、想像力を働かせ、国語で正確に理解し適切に表現する力をみるために、基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題している。

### イ 問いごとのねらい

- 1 文学的な文章によって、漢字を書くこと・読むこと、語句の知識などの基礎的事項、表現の特徴とその効果に関する理解の程度をみる。また、登場人物の言動の意味や心情を文章の展開に即して理解したり、理解したことを適切に表現したりする力をみる。
- 2 『枕草子』について解説した文章によって、古典における基礎的事項の理解の程度をみる。また、文章の展開に即して理解したことを整理し、適切にまとめる力をみる。
- 3 説明的な文章によって、表現技法、単語の類別に関する知識などの基礎的事項、文章全体と部分との関係に関する理解の程度をみる。また、筆者の主張を文章の展開に即して理解したり、理解したことを適切に表現したりする力をみる。
- 4 生徒と先生による引用の仕方および著作権についての会話と、生徒が作成した記事によって、複数の資料を比較しながら、取り上げられた話題の内容について適切に理解する力をみる。また、著作権法についての資料を読み、条件に従って意見文を書くことによって、目的に応じて必要な情報を読み取り、適切に表現する力をみる。

## (2) 結果の概要と授業改善の視点等

### ア 結果の概要

漢字の読みや書き、語句の知識、表現技法、単語の類別、古典の知識などの国語の基礎的な力をみる設問は、概ね正答率が高かった。また、登場人物の心情を読み取り選択肢によって解答する設問、『枕草子』と『源氏物語』の特徴を対比的に整理した表に当てはまる語句を文章中から抜き出す設問、資料に書かれた著作物の定義を理解し適当でないものを選択肢によって解答する設問でも正答率が高かった。

文学的な文章において、登場人物の心情を前後の描写や発言から読み取り適切にまとめる設問や、説明的な文章において、読み取った内容について文章中の語句を適切にまとめる設問では正答率が低かった。また、著作権法についての資料を読み、条件に従って意見文を書く設問を含め、記述問題の部分点率が高く、無答率は1割未満と低かった。

### (3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式		応答率 (%)							
				選択	短記述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無答				
1	(1)㉔	混乱	2		○	64.5		12.5		18.5		4.5	
	(1)㉕	届(いた)	1		○	96.0		0.0		1.5		2.5	
	(1)㉖	とくめい	1		○	89.0		0.0		11.0		0.0	
	(1)㉗	あわ(てて)	1		○	99.5		0.0		0.5		0.0	
	(2)	イ	3	○		92.5		0.0		7.5		0.0	
	(3)	自分がおすすめた本	3		○	51.0		35.5		11.0		2.5	
	(4)	ア	2	○		88.0		0.0		12.0		0.0	
	(5)	三崎さんが自分の好きな本を気に入り、本の感想を聞かしてくれる	6		○	12.5		77.0		6.5		4.0	
2	(1)	A B	3	○		63.0		0.0		37.0		0.0	
	(2)	エ	2	○		92.0		0.0		8.0		0.0	
	(3)X	解放	2		○	80.5		1.0		16.5		2.0	
	(3)Y	持続	2		○	94.0		0.5		4.5		1.0	
	(4)	ウ	4	○		73.0		0.0		26.5		0.5	
3	(1)	ア	2	○		91.5		0.0		8.0		0.5	
	(2)	ウ	2	○		79.0		0.0		20.5		0.5	
	(3)X	断熱効果	2		○	73.5		0.5		25.5		0.5	
	(3)Y	空を飛ぶ	2		○	75.0		0.5		22.5		2.0	
	(4)	イ	3	○		51.5		0.0		48.0		0.5	
	(5)	自分の生きる環境や行動に合わせて、生存に有利になるようデメリットとの妥協点を探る	6		○	0.5		68.0		20.5		11.0	
4	(1)	ウ	3	○		71.0		0.0		28.0		1.0	
	(2)	イ	2	○		83.0		0.0		16.0		1.0	
	(3)	利用者には、様々な立場から書かれた多くの著作物に触れるというメリットがあります。そして、その利用者が執筆する際は、自身が触れた著作物から得た知見をもとに、新たな著作物を生み出すことが期待できます。	8		○	15.0		56.0		23.0		6.0	

## 2 社会

### (1) 出題のねらい

#### ア 全般的なねらい

地理・歴史・公民の各分野にわたって、基礎的・基本的な知識と技能の習得の程度をみるとともに、社会的事象を多面的・多角的に考察する力やその結果を表現する力をみるために幅広く出題している。

#### イ 問いごとのねらい

- 1 諸外国との交流に着目して近世までをふり返る学習を通して、古代から近世までの我が国の外交の展開や文化の様子などについて知識の習得の程度をみるとともに、江戸幕府による外交方針の変化について、資料をもとに考察する力をみる。
- 2 2種類の世界地図を素材として、地図の特色や排他的経済水域などについて知識の習得の程度をみるとともに、緯度が異なる2か国の位置と季節との関係について、資料の情報と地図を関連させて考察し適切に表現する力をみる。
- 3 鉄道と経済成長をテーマとする調べ学習の資料を素材として、近現代の我が国の経済の移り変わりや文化の様子などについて知識の習得の程度をみるとともに、国内貨物輸送における環境問題について複数の資料から読み取った情報をもとに考察し適切に表現する力をみる。
- 4 九州地方についての調べ学習を通して、我が国の自然環境や産業などについて知識や技能の習得の程度をみるとともに、都市部における交通問題について資料から情報を読み取る力や読み取った情報をもとに考察し適切に表現する力をみる。
- 5 国際社会の中の日本をテーマとした学習場面を通して、我が国の政治や人権、地球規模の諸課題などについて知識の習得の程度をみるとともに、我が国のエネルギー問題について資料から読み取った情報をもとに考察する力をみる。

### (2) 結果の概要と授業改善の視点等

#### ア 結果の概要

基礎的・基本的な知識と技能の習得の程度をみる設問で正答率が高く、特に図や表から正確に情報を読み取る設問で正答率が伸びた。また、資料をもとに記述する設問では、部分点率が高く、問題に取り組もうとする姿勢がうかがえた。

一方で、2か国の位置と季節の関係についての設問や現代の諸課題についての設問など、知識をもとに資料から読み取った情報を考察し、かつこ内に当てはまる文章を適切に表現する設問において正答率が低かった。また、歴史の大きな流れを、事象の意味や意義、相互の関連を踏まえて、理解することに課題がみられた。

### (3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式		応答率 (%)								
				選択	短記述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無答					
1	(1)	渡来人	2		○	85.5		0.0		12.5		2.0		
	(2)	ウ	2	○		84.0		0.0		16.0		0.0		
	(3)	エ	2	○		81.0		0.0		19.0		0.0		
	(4)	ア	2	○		62.5		0.0		37.5		0.0		
	(5)	キリスト教徒ではないと証明させる	2			○	80.0		2.5		16.0		1.5	
	(6)P	異国船打払令	2			○	84.0		0.5		11.5		4.0	
	(6)Q	清がイギリスに敗北した	2			○	56.5		1.5		31.5		10.5	
2	(1)	ウ	2	○		54.5		0.0		45.5		0.0		
	(2)	白夜	2		○	71.0		2.5		18.5		8.0		
	(3)	インド洋	2		○	77.5		0.0		22.5		0.0		
	(4)	ウ	3	○		60.0		0.0		40.0		0.0		
	(5)	北半球に位置しており、オーストラリアは、南半球に位置しているため、季節が逆になるから。	3			○	41.0		20.0		35.5		3.5	
3	(1)	富岡製糸場	2		○	76.5		2.5		13.5		7.5		
	(2)①	イ	2	○		85.0		0.0		14.5		0.5		
	(2)②	民鉄の国有化	2		○	14.5		1.0		76.0		8.5		
	(3)	イ	2	○		50.0		0.0		50.0		0.0		
	(4)	ウ → ア → イ → エ	3	○		12.0		0.0		87.5		0.5		
(5)	貨物輸送分担の半数以上を占める自動車から、鉄道と船へ輸送手段を転換することで、二酸化炭素の排出を削減できる	3			○	27.0		24.0		43.0		6.0		
4	(1)	黒潮	2		○	77.0		0.5		21.5		1.0		
	(2)	エ	2	○		68.0		0.0		32.0		0.0		
	(3)	【都市名】 宮崎 台風	2		○	66.5		4.5		29.0		0.0		
	(4)	イ	3	○		66.5		0.0		33.5		0.0		
	(5)	面積割合に対する人口割合の比が大きく、人口密度が高い	3			○	22.0		47.0		26.0		5.0	
5	(1)	エ	2	○		80.0		0.0		20.0		0.0		
	(2)	公共の福祉	2		○	49.0		0.5		44.5		6.0		
	(3)	ウ	3	○		63.5		0.0		36.5		0.0		
	(4)	東南アジア諸国連合	2		○	72.5		0.0		22.0		5.5		
	(5)①	意見を反映しやすい	2		○	80.0		2.5		13.0		4.5		
	(5)②	ア	2	○		72.5		0.0		27.5		0.0		
	(6)	ウ	2	○		72.0		0.0		28.0		0.0		
(7)	他国と比べて、一次エネルギー自給率が低く、資源を輸入に頼る	3			○	19.5		52.5		24.5		3.5		

## 3 数 学

### (1) 出題のねらい

#### ア 全般的なねらい

数量や図形に関する基礎的な概念や原理・法則についての理解の程度、数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力等をみるために、基礎的・基本的事項を中心として各領域から幅広く出題している。

#### イ 問いごとのねらい

- ① 各領域における基礎的・基本的事項について、言葉や数、式、図、表などの数学的な表現を用いて処理する力等をみる。
- ② 箱ひげ図やヒストグラムを用いてデータの分布の傾向を読み取る力等をみる。
- ③ 具体的な事象の中の数量の関係について文字を用いた式で表す力、二元一次方程式の解の意味についての理解の程度等をみる。
- ④ 関数  $y = ax^2$  についての理解の程度、三平方の定理や図形の性質を具体的な場面で活用する力等をみる。
- ⑤ 図形の性質を演繹的に確かめ、論理的に考察し表現する力等をみる。

### (2) 結果の概要と授業改善の視点等

#### ア 結果の概要

各領域における基礎的・基本的な知識・技能の理解や習得の程度をみる設問では、比較的正答率が高かった。学習指導要領改訂により中学校段階へ移行された内容及び新たに指導する内容についての設問の正答率は、①(9) 65.0%、②(1)① 88.0%、②82.0%、(2) 70.5%、(3)64.0% であった。

文字を用いて確率を表す設問や、図形の面積を求める設問、方程式の解の意味について理解の程度をみる設問、2次関数の性質に関する設問では、比較的正答率が低かった。

### (3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式			応答率 (%)						
				選択	短答	記述	正答としたもの		部分点を 与えたもの		誤答としたもの		無答
1	(1)	6	2	○		99.5		0.0		0.5		0.0	
	(2)	20	2	○		92.0		0.0		8.0		0.0	
	(3)	-10	2	○		89.5		0.0		10.5		0.0	
	(4)	$\frac{8}{3}a^2$	2	○		85.0		0.0		14.5		0.5	
	(5)	$-7 - 3\sqrt{3}$	2	○		83.5		0.0		16.0		0.5	
	(6)	※説明記述	4		○	58.0		30.0		7.0		5.0	
	(7)	$y = -\frac{3}{x}$	3	○		82.5		0.0		16.0		1.5	
	(8)	$1 - p$	3	○		41.5		1.0		46.5		11.0	
	(9)	$a = 3$	3		○	65.0		1.0		32.5		1.5	
	(10)	$\frac{16}{3}\pi - 4\sqrt{3}$	3	○		12.5		0.0		66.0		21.5	
2	(1)①	ア	3	○		88.0		0.0		12.0		0.0	
	(1)②	ウ	3	○		82.0		0.0		18.0		0.0	
	(2)	イ	2	○		70.5		0.0		29.5		0.0	
	(3)	2010年 ウ 2015年 イ 2020年 ア	3	○		64.0		0.0		36.0		0.0	
3	(1)①	$180x + 120y = 1500$	2	○		89.0		0.5		9.0		1.5	
	(1)②	プリン 7 シュークリーム 2	2	○		90.5		0.0		9.0		0.5	
	(2)①	4	3	○		35.5		0.0		54.5		10.0	
	(2)②	シュークリーム 8 ドーナツ 6	2	○		54.5		2.0		32.0		11.5	
4	(1)①	$\frac{1}{4}$	2	○		80.5		0.0		17.5		2.0	
	(1)②	$0 \leq y \leq 4$	3	○		66.5		0.0		30.0		3.5	
	(2)	-1	3	○		39.5		0.0		56.0		4.5	
	(3)	$y = 2x - 4$	3	○		20.0		0.0		37.0		43.0	
5	(1)(あ)	イ	2	○		58.5		0.0		41.5		0.0	
	(1)(い)	オ	2	○		69.5		0.0		30.0		0.5	
	(2)	ウ	3	○		55.0		0.0		45.0		0.0	
	(3)①	※証明記述	4		○	26.5		42.0		19.5		12.0	
	(3)②	ウ	2	○		84.5		0.0		14.5		1.0	

#### 1 (6) 説明記述

ある正の整数から3をひいた数は $x - 3$ と表される。  
これを2乗すると64であるから、  
 $(x - 3)^2 = 64$   
 $x - 3 = \pm 8$   
 $x - 3 = 8$  のとき  $x = 11$   
 $x - 3 = -8$  のとき  $x = -5$   
 よって、 $x = 11, -5$   
 $x$  は正の整数だから、 $x = -5$  は問題にあわない。  
 $x = 11$  は問題にあっている。

#### 5 (3)① 証明記述

$\triangle BCF$ と $\triangle GFC$ において、  
 円Mの半径は線分BFの長さと等しいから、  
 $BF = GC$  …… ①  
 円Nの半径は線分BCの長さと等しいから、  
 $BC = GF$  …… ②  
 また、共通な辺だから、  
 $CF = FC$  …… ③  
 ①, ②, ③ から、3組の辺がそれぞれ等しい  
 ので、

$$\triangle BCF \equiv \triangle GFC$$

## 4 理科

### (1) 出題のねらい

#### ア 全般的なねらい

自然の事物・現象に関する基礎的・基本的な概念や原理・法則についての知識・理解の程度と、観察・実験などを通しての科学的な思考力、判断力、表現力等をみるために、第1分野、第2分野にわたって幅広く出題している。

#### イ 問いごとのねらい

- 1 各分野の基礎的・基本的内容についての知識・理解の程度をみるとともに、身近な事物・事象について科学的に判断する力をみる。
- 2 エネルギーの変換に関する実験を通して、基本的な法則や電力などの計算についての知識・理解の程度をみるとともに、実験の結果について科学的に思考・判断する力や表現する力をみる。
- 3 地層の観察に関するレポートを素材として、地層の重なり方の規則性などについての知識・理解の程度をみるとともに、地層のでき方を時間的な変化と関連づけて思考する力や判断する力をみる。
- 4 微生物による有機物の分解に関する実験を通して、生物の観察や実験操作についての知識・理解の程度をみるとともに、人間生活が自然環境へ与える影響について、科学的に思考・判断する力や表現する力をみる。
- 5 電池に関する実験を通して、金属のイオンへのなりやすさの違いや電池の仕組みについての知識・理解の程度をみるとともに、電池におけるイオンや電子の動きについて、科学的に思考する力や判断する力をみる。

### (2) 結果の概要と授業改善の視点等

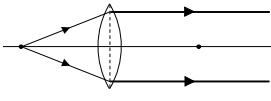
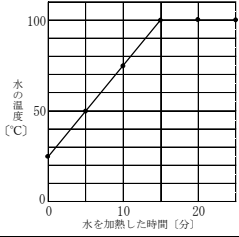
#### ア 結果の概要

自然の事物・現象に関する基礎的・基本的な知識・理解の程度をみる設問では、一般的に正答率が高かった。

現象を科学的な視点で捉えて説明する設問、表やグラフのデータを利用して計算をする設問では正答率が低いものもあったが、全体的に無答率は低く、問題に取り組もうという姿勢がみられた。



(3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式			応答率 (%)			
				選択	短答	記述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無答
1	(1)①	アンモニア	2	○		83.0		0.0	15.5	1.5
	(1)②	ウ	2	○		86.0		0.0	14.0	0.0
	(2)①	ア	2	○		75.0		0.0	25.0	0.0
	(2)②		2		○	22.0		0.5	77.5	0.0
	(3)①		2		○	69.0		5.0	25.5	0.5
	(3)②	ウ	2	○		48.0		0.0	52.0	0.0
	(4)①	X	2	○		82.0		0.0	18.0	0.0
	(4)②	エ	2	○		83.0		0.0	17.0	0.0
2	(1)	イ	2	○		82.5		0.0	17.5	0.0
	(2)	0.15	2	○		59.5		0.0	39.0	1.5
	(3)	33	2	○		49.0		0.0	38.5	12.5
	(4)	イ ウ	2	○		30.0		0.0	70.0	0.0
	(5)	オーム	2	○		67.5		0.0	30.0	2.5
	(6)①	4.5	2	○		24.5		0.0	70.5	5.0
	(6)②	発生した熱の一部が、空気中に放出したため。	3		○	16.0		1.0	62.0	21.0
3	(1)	ウ	2	○		92.5		0.0	7.5	0.0
	(2)	イ	2	○		68.0		0.0	32.0	0.0
	(3)	$\text{CaCO}_3 + 2\text{HCl} \rightarrow \text{CaCl}_2 + \text{H}_2\text{O} + \text{CO}_2$	2	○		49.5		8.5	40.5	1.5
	(4)	軟体動物	2	○		84.0		3.5	12.5	0.0
	(5)	ア	2	○		64.5		0.0	35.0	0.5
	(6)	ウ	2	○		47.0		0.0	53.0	0.0
	(7)	エ	2	○		21.5		0.0	78.5	0.0
4	(1)	ゾウリムシ	2	○		67.0		0.0	32.0	1.0
	(2)	ア	2	○		59.5		0.0	40.0	0.5
	(3)	エ	2	○		83.5		0.0	16.5	0.0
	(4)①	(a) ウ (b) エ (c) イ	3	○		59.5		0.0	40.5	0.0
	(4)②	微生物の分解能力が追いつかず、有機物が分解されずに多く残る	3		○	43.5		7.5	47.0	2.0
5	(1)	マグネシウム	2	○		72.5		0.0	27.5	0.0
	(2)	+	2	○		83.5		0.0	16.5	0.0
	(3)	ア	2	○		23.0		0.0	77.0	0.0
	(4)	ア	2	○		59.0		0.0	41.0	0.0
	(5)	エ	2	○		71.5		0.0	28.5	0.0
	(6)	(a) ア (b) オ (c) ク	3	○		29.0		0.0	71.0	0.0

## 5 英語

### (1) 出題のねらい

#### ア 全般的なねらい

思考力や判断力を働かせて英語を理解し、適切に表現する力をみるために、基礎的・基本的事項を中心として、英語の言語活動の全領域にわたって幅広く出題している。

#### イ 問いごとのねらい

- 1 話される英語の内容を正しく聞き取る力、必要な情報を正確に書き取る力、適切に応答する力をみる。また、まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を的確に聞き取る力や聞き取った内容を踏まえて英語で表現する力をみる。
- 2 英語による会話と会話の内容に関係する資料から、英語の内容を正確に読み取る力や、会話と資料を関連させて適切な情報を選択する力をみる。
- 3 英語による会話の場面において、登場人物が考えている内容を適切に英語で表現する力をみる。
- 4 英語で話し合う場면을素材として、英語の内容を正確に理解したうえで、関連資料を選択する力、話し合いの論理展開や要点を把握する力をみる。
- 5 まとまりのある英語の文章から、内容を正確に読み取る力、文章の論理展開や筆者が伝えたいメッセージを把握する力をみる。

### (2) 結果の概要と授業改善の視点等

#### ア 結果の概要

話される英語の内容を正しく聞き取る力をみる設問の正答率は高かった。また、英文の内容を正確に読み取る力や、会話と資料を関連させて適切な情報を選択する力をみる設問の正答率も高かった。

まとまりのある英語を聞いて、聞き取った内容を踏まえて英語で表現する力や、英語による会話の場面において、登場人物が考えている内容を適切に英語で表現する力をみる設問は正答率が低かった。相手に伝えたい内容を他者に伝わるように表現することについては課題がみられた。

(3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式			応答率 (%)						
				選択	短答	記述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無答			
1	A(1)	イ	2	○		94.5		0.0		5.5		0.0	
	A(2)	ウ	2	○		79.5		0.5		20.0		0.0	
	B(あ)	breakfast	2		○	78.5		0.5		18.5		2.5	
	B(い)	park	2		○	91.5		0.5		6.0		2.0	
	B(う)	apples	2		○	66.5		15.5		16.5		1.5	
	C(1)	ア	2	○		92.5		0.0		7.5		0.0	
	C(2)	イ	2	○		76.5		0.0		22.5		1.0	
	D(1)	イ → ウ → ア	2	○		90.0		0.0		9.5		0.5	
	D(2)	Can I study in this library	4			○	26.0		21.5		34.0		18.5
2	(1)	Saturday	2		○	66.5		0.0		32.5		1.0	
	(2)	ウ	3	○		80.0		0.0		20.0		0.0	
	(3)	flowers	3		○	81.5		0.0		18.0		0.5	
	(4)	bought	2		○	83.5		0.0		15.0		1.5	
	(5)	エ	3	○		86.5		0.0		13.5		0.0	
3	(1)	send this to	3		○	23.5		34.5		35.5		6.5	
	(2)	be glad to read this	3		○	30.5		22.0		40.0		7.5	
4	(1)	ア	3	○		79.0		0.0		20.5		0.5	
	(2)	is difficult for them to	3		○	68.0		0.0		31.5		0.5	
	(3)	イ	3	○		70.0		0.0		30.0		0.0	
	(4)	ア	3	○		69.0		0.0		31.0		0.0	
	(5)	ウ	3	○		58.5		0.0		40.0		1.5	
5	(1)	イ	2	○		79.0		0.0		21.0		0.0	
	(2)①	音楽で表現したい	2		○	29.5		5.5		51.5		13.5	
	(2)②	文化と歴史	2		○	80.5		9.0		8.5		2.0	
	(3)	エ	2	○		68.0		0.0		31.5		0.5	
	(4)	ウ → ア → イ	2	○		50.5		0.5		49.0		0.0	
	(5)	open a door	3		○	43.0		1.0		42.0		14.0	
	(6)	イ ウ	3	○		22.0		0.0		78.0		0.0	